

★ これだけはぜひ守りましょう! ★

安全運転のために

★腰ベルトは

いっぱいひきだして腰骨の位置にピッタリと装着しましょう。



腹の位置にかけると万
のとき身体にくいこみ危
険です。

★ヘッド・レストの位置は

ヘッド・レストとの間にはぎりこぶしの幅以上あ
けないようにしましょう。



ヘッド・レストとの間
隔が多いと万のとき
危険防止に役立ちませ
ん。

★長い坂道を下る場合は

エンジン・ブレーキを活用しましょう。

フット・ブレーキを踏み続けると
ブレーキが、効かなくなります

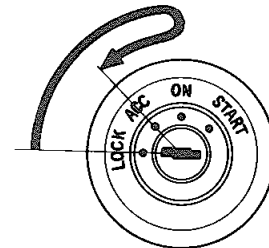


エンジン・スイッチをLOCKの位置にしないでください。
ハンドルがロックされているとハンドルがきれなくなり危
険です。

★エンジンを停止して移動する場合は

(けん引される場合など)

エンジン・スイッチは一度ONにしてからACC
の位置にしましょう。



LOCKの位置
にして万・ハン
ドルがロックさ
れているとハン
ドルがきれなく
なり危険です。

故障しないために

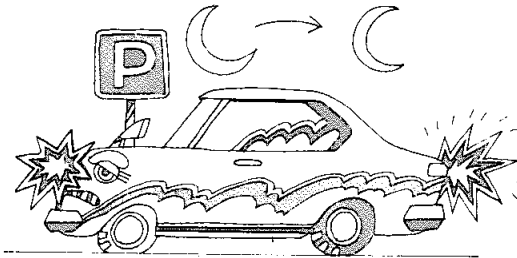
★パーキング・ブレーキ・レバーは

走行する前に必ず確実にもとの位置までもどし、インジケーター・ランプが消灯するのを確かめましょう。



ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキが効かなくなります。

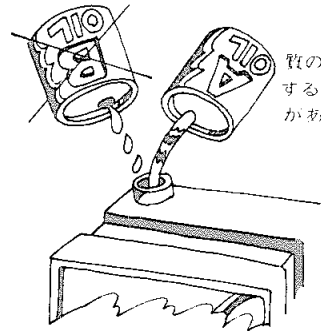
★エンジンを停止してランプ類を使用するときはバッテリーは完全充電でも、エンジンが停止していると消耗がはげしいものです。パーキング・ランプ、ハザード・ウォーニング・ランプなどは必要以外には、使用しないように。



長時間使用はバッテリーあがりの原因になります。

★オイルの補給は

同品質かまたはそれ以上の品質のオイルを使用しましょう。



質の異なったオイルを補給すると性能が低下する恐れがあります

★寒冷時になる前にラジエーターには

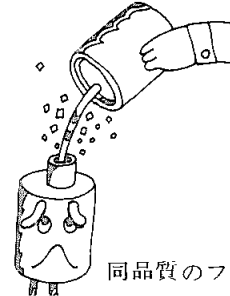
(不凍液の注入の項目参照)

気温に応じた適当な濃度の不凍液またはロングライフ・クーラントを入れましょう。

ただし、ロングライフ・クーラント注入済みの車両は入れ替える必要はありません。

★ブレーキフルードを補給するときは

(点検のしかたの項目参照)

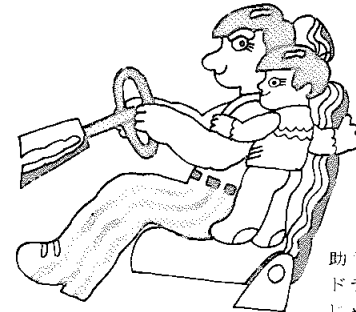


同品質のフルードを必ず使いましょう。なお、タンク内にゴミがはいらないように十分に注意しましょう。ゴミがはいるとブレーキは効かなくなります。

お子様を乗せるとき

★なるべく保護者と一緒にリヤ・シートにすわらせましょう。

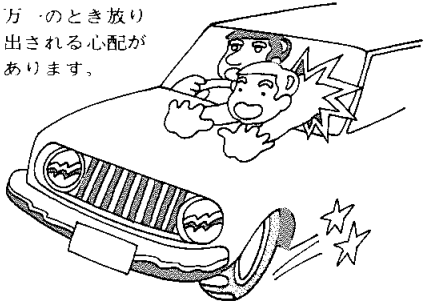
助手席ではドライバーのじゃまになり大変危険です。



助手席ではドライバーのじゃまになります。

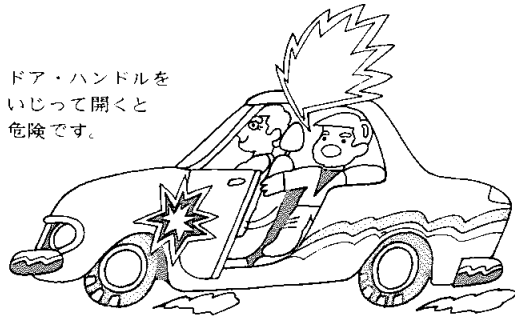
★必ずリヤ・シートにすわらせましょ。

万一のとき放り出される心配があります。



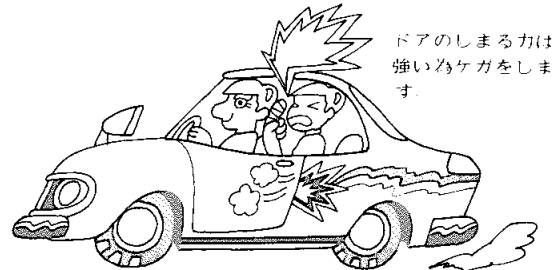
★ドア・ロックは確実にしましょ。

ドア・ハンドルをいじって開くと危険です。

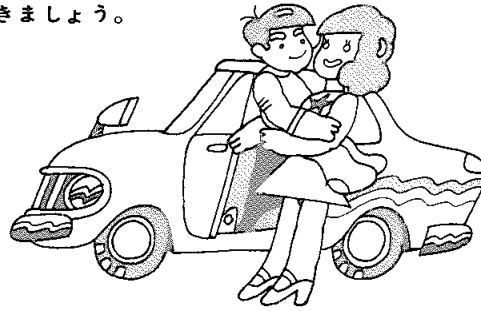


★ドアの開閉で手をはさまないようにしましょ。

必ずおとながドアの開閉をしましょ。



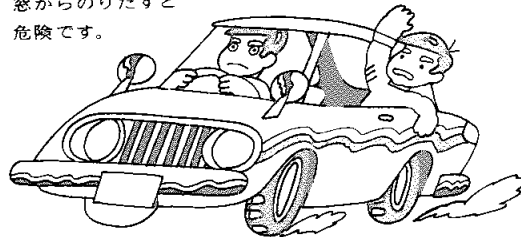
★車から離れるときは、こどもを一緒に連れてゆきましょ。



思いがけない事故が起きる場合があります。

★窓の開閉はおとなの手でしましょ。

窓からのりだすと危険です。



緊急処置

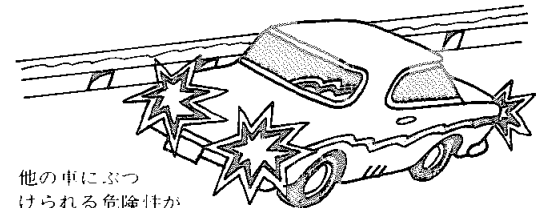
★踏切りなどで始動できなくなったときは、スターターで抜け出しましょ。(トヨグライド車は除く)
それでもだめなときは踏切に装備されている非常ベルを押すか保安炎筒で合図してください。

大きな事故を起す危険性があります。



★万一、故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させるか、または、故障車とわかるように赤旗などを目につくように表示しましょ。



他の車にぶつけられる危険性があります。

★遠出して万一故障し、なおせないときは
整備手帳のサービス網をご覧になって、あなたの
車の最寄りの取扱い販売店へ連絡しましょう。